

外国ルーツ青少年未来創造事業公開シンポジウム

# 外国にルーツを持つ青少年の 自立を支える社会の実現に向けて

## 第1回 外国ルーツ青少年のライフスパン を意識した包括的支援の在り方

日時 2023年2月22日(水)15時~17時

方法 オンライン配信 (Zoom)

定員 500名 (先着順)

参加費 無料

申込

\* 上記をクリックしていただくと、  
申し込みフォームに移動します。  
\* 当日のURLは開催日の数日前に  
申込時のアドレスに送付します。



### プログラム

15:00-15:05

開会挨拶

大河原 昭夫 (公財) 日本国際交流センター 理事長

15:05-15:25

報告 「外国ルーツ青少年当事者調査から見える  
外国ルーツ青少年の今」

李 恵珍 (公財) 日本国際交流センター シニア・プログラム・オフィサー  
大関 絢子 (公財) 日本国際交流センター 委託研究員

15:25-16:55

パネルディスカッション

「外国ルーツ青少年のライフスパンを支える活動、  
仕組みづくりとは: 支援の現場から届ける  
今とこれから」

モデレーター

オチャンテ 村井 ロサ メルセデス 桃山学院教育大学人間教育学部  
人間教育学科准教授

パネリスト

和泉 正明 (NPO 法人) ABC ジャパン アドバイザー  
柴山 智帆 (NPO 法人) glolab 代表理事  
矢崎 理恵 (福) さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター・  
実施責任者

牧野 佳奈子 (一社) DiVE.tv 代表理事

16:55-17:00

閉会挨拶

毛受 敏浩 (公財) 日本国際交流センター 執行理事

## 登壇者の略歴

### 報告

李 恵珍 (いへじん) (公財) 日本国際交流センター シニア・プログラム・オフィサー



韓国・ソウル出身。2003年に留学生として来日。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。一橋大学社会学研究科技術研究員、お茶の水女子大学特任リサーチ・フェローを経て2014年11月より現職。国際的な人の移動にかかわる調査・研究、日本国内およびアジアにおける関係者・機関との協働プロジェクトの企画・運営を通じた啓発・アドボカシー活動に従事。専門は、移民・外国人政策、労働政策。社会学博士。

大関 絢子 (おおぜき あやこ) (公財) 日本国際交流センター 委託研究員



日本語教育や難民支援のボランティアをきっかけに移住や移住をめぐる問題について関心を持ち、ヨーロッパの文化セクターにおける多文化共生の試みについて研究を行っている。神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程に在籍中。2021年11月よりJCIEの委嘱研究員として、SYDRIS事業に参画。国際学修士(神戸大学)。

### パネルディスカッション

#### モデレーター

オチャンテ 村井 ロサ メルセデス (おちゃんて むらい ろさ めるせです) 桃山学院教育大学 人間教育学部  
人間教育学科 准教授



ペルー・リマ市に生まれ、15歳の時に来日。中学校3年生に編入し、定時制高校を卒業。三重大学大学院を修了し、三重県で外国人児童生徒巡回相談員を経て、現在桃山学院教育大学人間教育学部で准教授を務め、ニューカマーの子どもたちの教育研究を行っている。また、三重県を中心に多文化共生や国際理解に関わる活動に参加している。

#### パネリスト

和泉 正明 (いずみ まさあき) (NPO 法人) ABC ジャパン アドバイザー



上智社会福祉専門学校を卒業後、認可保育園にて保育士として勤務。パラグアイで幼児教育ボランティアを2年間行う。日本大学通信教育部文理学部を卒業。JICA 特別嘱託として JICA 横浜に所属。NPO 法人 ABC ジャパンで外国につながる子どもの教育や定住外国人支援等を行っている。

柴山 智帆 (しばやま ちほ) (NPO 法人) glolab 代表理事



名古屋市立大学経済学部卒業後、外資系半導体メーカーに勤務しながら愛知県豊田市の日本語教室で日本語ボランティアに従事。東京に転居後、特定非営利活動法人多文化共生センター東京の活動に参画。2013年より専従スタッフとなる。2016年退職後、任意団体 glolab を立ち上げ、外国にルーツを持つ高校生のキャリア支援活動を開始。2020年 NPO 法人化と共に代表理事に就任。

矢崎 理恵 (やざき りえ) (福) さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター・実施責任者



大学卒業後、JICA 青年海外協力隊員としてフィリピンに赴き、日本語教師としてのキャリアをスタート。帰国後、主として日本語学校で予備教育の日本語教育に携わる。2006年、社会福祉法人さぼうと21学習支援室のコーディネーターとして難民の自立支援の活動にかかわるようになる。多様な人々が集う「学びの場」づくりが現在の関心事。

牧野 佳奈子 (まきの かなこ) (一社) DiVE.tv 代表理事



大阪府立大学農学部を卒業後、知的障がい者のガイドヘルパーとして勤務しながら写真を学ぶ。2005年から福井テレビジョン放送株式会社の報道記者として勤務。2008年に退職し、翌年から1年間かけて世界一周する。帰国後フリーカメラマン兼ライターとして独立。2014年に名古屋に移住し、2015年に多文化市民メディア DiVE.tv 設立。2018年に法人化し代表理事に就任する。愛知教育大学非常勤講師。

#### 問い合わせ先

公益財団法人日本国際交流センター担当：李 (い)

[youth@jcie.jp](mailto:youth@jcie.jp)

\*送信する際は、@の前のスペースを削除してください。

申込先：<https://forms.gle/dCzVBDRdhXuoFK9Q7>

